

飼育鳥における高病原性鳥インフルエンザ疑い事例発生について（第2報） — 遺伝子検査結果「陽性」 —

12月7日（水）に当公園内の動物の森で飼育しているコブハクチョウ1羽に、高病原性鳥インフルエンザ疑いの事例が発生した件について、国立環境研究所による遺伝子検査の結果、12月14日（水）に高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5亜型）が検出された旨の連絡がありました。

引き続き、「動物園等における飼育鳥に関する高病原性鳥インフルエンザへの対応指針」に基づき、福岡市の担当部局の指導並びに協力のもと、適切な対応を継続してまいります。

なお、12月14日14時の時点で、他のコブハクチョウをはじめ飼育鳥に異変は生じておりませんが、当面の間、動物の森の閉鎖措置の継続をはじめ感染防止対策の徹底と経過観察を実施いたします。

【継続する主な感染防止対策】

- ・当面の間、動物の森閉鎖措置と石灰散布等の実施
- ・水鳥の隔離を継続するとともに、日々の健康観察と経過観察
- ・動物の森に入退場する関係車両の噴霧消毒
- ・公園各ゲートに消毒マット及び告知看板の設置
- ・園内の池周囲を中心に徒歩巡視の強化

【これまでの経緯】

- ・12月7日（水） 9:30 コブハクチョウ1羽の衰弱個体を発見（12/7（水）13時頃、衰弱死）。
11:00 簡易検査を実施、陽性を確認。
- ・12月14日（水） 国立環境研究所の遺伝子検査の結果、陽性（高病原性鳥インフルエンザ）を確認。

【留意事項】

- ・鳥インフルエンザウイルスは、感染した鳥との濃密な接触等があった場合を除いて、人には感染しないと考えられています。日常生活においては、鳥の排泄物等に触れた後には手洗いとうがいをいただければ、過度に心配する必要はありません。

【報道機関の皆様へ】

- ・現地周辺での取材は、ウイルスの拡散や感染を防ぐ観点から、謹んで頂きますようお願いいたします。

海の中道海浜公園に関する取材申し込み・お問い合わせ

総務係：中島、中野
広報係：柴田、大塚
TEL：092-603-1300
FAX：092-603-1199

- ★公園ホームページ <https://uminaka-park.jp>
- ★Facebook <https://www.facebook.com/uminaka.go.jp>
- ★Twitter <https://twitter.com/uminakapark>
- ★Instagram <https://instagram.com/uminonakamichiseasidepark>
- ★うみなかたびホームページ <https://uminakatabi.com/>